

議員と力なる会（議会報告・意見交換会）報告書

開催日時	令和7年11月20日（木） 18時00分～20時00分
開催場所	市役所本庁舎サードプレイス1階ロビー
会場責任者	渡部 伸広
記録者	中村 美津緒
出席議員	渡部 伸広、里村 誠悦、赤平 勇人、中村 美津緒、木戸 喜美男、工藤 健、長谷川 章悦、花田 明仁
参加者数	8名
報告内容	令和7年青森市議会第3回定例会の主な出来事
意見交換内容 (意見の要旨)	<p>テーマ：除排雪について</p> <p>【ラウンド1 『青森市の除排雪についてどう思いますか?】</p> <ul style="list-style-type: none">・車線がなく車線変更が大変だった。・各地域に流融雪溝の設置を要望。・地元町会住民の協力体制の強化を。・道路わきの残雪は地域住民同士の協力を、ただし市の排雪は必須。・昔のように一斉排雪を！・道路の凸凹、道路が狭いから通行しづらい。・歩道の除排雪をもっとして欲しい。・高齢者、障がい者の支援策を。・雪に対する災害ボランティア活動をもっと。・融雪機、除雪機に補助金を！・4ヶ月は雪国なのであきらめてトレーニングと思う。・今後ますます人口減少だからしようがない。・地域住民の雪寄せ場所が欲しい。・業者による地域によってムラがある。・除排雪費用に不満である。・昨冬、市の要望への電話が全くつながらない。・排雪日を事前に知らせて欲しい。・除排雪のモニター制度の実施。・ダンプと除排雪重機の数がそもそも足りない？・対応完了の報告が無い。・雪をお金に換える。・雪に関する相談が委託になったのが心配。・電話のオペレーターは青森市の事情が分かるのか心配。 <p>【ラウンド2 『より効果的な除排雪を行われるためにはどうすればよいか?】</p> <ul style="list-style-type: none">・除排雪の指示を明確に。・新築時に除排雪の事を考えて建設。・空き家等解体して空き地を有効に利用。

	<ul style="list-style-type: none"> ・雪寄せ場を増やす。 ・雪寄せ、雪出しをしない。 ・除雪ボランティアをもっと効率よく運用すべき。 ・公共交通を利用する、それに補助を。 ・流融雪溝をもっとつくる。 ・人手の確保を除排雪にもっとお金をかける。 ・自家用車の利用を控える。 ・そもそも青森市は雪に対しての道路がなっていない。 ・ダンプが少ない。 ・雪をお金に換える技術や開発に関してお金を出す、投資する。 ・二段階除排雪が心配だ。 <p>【ラウンド3 『スムーズな除排雪にあたり一人一人が出来る事は何でしょう】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路や歩道に雪を出さない事。 ・自分の土地は自分で努力して雪投げを。 ・近所同士で声掛け。 ・除雪ボランティアへ協力する。 ・雪かきは冬のトレーニングと割り切る。 ・冬はそもそも雪が降るからと開き直る。 ・雪遊びと考える。 ・屋根雪は危険なので屋根雪を下すときは一斉に見守りながら、更に市の排雪をセットで。 ・冬の間の自宅、身の回りの雪かきの事前の計画をしておく。 <p>【自由意見交換】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お年寄りに優しい青森市へ。 ・現在の国政はどうなっている？ ・議員は約束を守らないのか？ ・お米が高くて買えない。 ・雪を逆手にして「稼ぐ方法」を。 ・町内会のコミュニケーションは希薄になってきている。 ・お年寄りが住む地域をコンパクトにまとめる。 ・町会での意見交換の場を増やす。 ・大雪の時に緊急的に区切って除雪区域を除排雪。
記録者所見	今回で2回目ですが除排雪について市民の方から切実な御意見や御要望を頂くことができ、終始楽しく対話できた。 とても有意義な意見交換ができた。

青森市議会議長 様

令和7年12月1日

上記のとおり報告いたします。

会場責任者 都市建設常任委員長 渡部 伸広

